

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年 6月17日更新

事務事業名	水道事業維持管理事業(施設)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康		所属部	水道局	課長名 澤田 修一
	施策	20	水の安定供給と排水の浄化		所属課	水道課	担当者名 吉田 健悟
	施策の柱	60	水の安定供給		所属班	水道班	(内線) 5244
予算科目	会計企業	款	項	目	事業連番	根拠法令	地方公営企業法、水道法、合志市水道事業給水条例
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	水道事業(旧簡易水道事業を含む)の基幹施設である配水池及び水源地の施設を適切に運転し維持管理することにより、水道水を安定的に供給する事業である。昭和37年度から近代水道を計画的に整備し、清浄にして豊富かつ低廉な水の供給を図り、公衆衛生の向上と生活環境を改善するために事業を開始した。配水池施設及び水源地施設とも、長年の使用により老朽化が著しく、機器の故障や配線・計器類の劣化による不具合などが顕著に表れているため、計画的に整備・更新を行なっていくための事業である。
【業務の流れ】	①配水池施設及び水源地施設の職員による維持と運転(動力費等支払を含む)、定期点検、適切な管理を行なう(職員直営+外部委託)。②配水池及び水源地等の施設故障及び不具合に対し、早急かつ適切な補修、修繕を行なう(契約、監督、検査等の事務)。③法令に基づき、水質(配水・取水原水)について、外部専門機関に委託し定期的に水質検査及び指標値検査を実施する(契約事務、監督、成果納品検査事務)。また、各配水池ごとの残留塩素濃度等の毎日検査を行なう(検査員に依頼)。④水道事業に携わる職員の検便検査を実施する。⑤水道法の規定に基づく衛生上必要な措置のため、年間を通じて安定的に塩素剤を調達し、水源地施設において原水と混和し基準に適合した塩素殺菌効果を発揮させるための施設管理を行なう(委託契約、監視、保守)。
【主な予算費目】	(款)1.水道事業費用(項)1.営業費用(目)1.原水及び浄水費(委託料、手数料、修繕費、動力費、薬品費)
【意見や要望】	水道利用者の水質に関する意識が高まっており、個別の水質調査依頼の要望が数件あっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

① 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	配水池施設及び原水(取水)施設の機能を保持し適切に運転できるよう維持管理を行なった(電気設備、機械設備ほか、各種補修対応等)。特に専門的な保守及び点検が必要な設備(電気計装、ポンプ等)について、3~4箇所の配水池施設等を選定し年間を通じて保守点検業務を依頼し実施した。その他「業務の流れ」のとおり。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 前年度実績のとおり、特に専門的な保守及び点検が必要な設備(電気計装、ポンプ等)について、施設等を選定し年間を通じて保守点検業務を実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 回 → ア:配水池及び原水(取水)施設の点検回数 → イ:	予算の主な増減の理由
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	配水池及び原水(取水)施設	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア:配水池施設数 箇所 → イ:原水(取水)施設数 箇所
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	・機能が保持される。 ・安定した運転ができる。	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア:設備の事故等により断水した件数 件 → イ:
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
設備の事故等により断水した件数の発生をみることで、配水池及び原水(取水)施設の機能が保たれ安定した運転ができていのかどうかを判断できると考えた。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	29年度 実績(決算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	31年度 実績(決算)	2年度 目標(当初予算)	3年度 予定	4年度 見込	5年度 見込
① 活動指標	ア	回	20	20	20	20	20	20	20	20
	イ									
② 対象指標	ア	箇所	12	12	13	13	13	12	12	12
	イ	箇所	21	21	24	24	24	22	22	22
③ 成果指標	ア	件	1	0	3	0	3	3	3	3
	イ									
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	97,518	105,860	140,219	120,700	161,068	140,000	140,000
		繰入金	千円							
	一般財源	千円								
	(A) 事業費計	千円	97,518	105,860	140,219	120,700	161,068	140,000	140,000	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0		
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数	人	6	5	5	5	5	5	5	
	延べ業務時間	時間	2,190	1,600	1,500	1,770	1,500	1,500	1,500	
	(B)人件費計	千円	8,663	6,307	5,976	7,014	5,976	5,976	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	106,181	112,167	146,195	127,714	167,044	145,976	140,000	

事務事業名	水道事業維持管理事業（施設）	所属部	水道局	所属課	水道課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 老朽化による設備の劣化は進んでいるが、専門機関への保守点検業務委託及び職員による施設点検による監視を強化することで、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事故等による断水が起きないように現状を保持する事業であり、成果向上の余地は少ない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 配水池及び原水（取水）施設は、水道事業特有の施設であり、統廃合及び連携はできない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最小限の事業費で維持管理を行っており、削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現時点においても施設を維持管理するための職員は他事業と兼務で業務にあっており、必要最小限であるため削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 すべての水道使用者に受益機会があり公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 第三者に業務を委託することを検討する余地はあるが、使用者にとって真に信頼できる水道事業であり続ける必要があり、部分的な業務委託を含め、現時点で移行することは難しい。

3 評価結果の総括（CHECK）

自然災害時の対応の体制の整備及び予防対策に力を入れ、安定的な水の供給に取り組む。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要）																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					